

各レッスンの文法項目とトピックリスト

4つのZoneで日常的な話題から社会的な話題まで、無理なく展開できるように構成しました。

1st Zone >>> 自分のことや身近な人のことを話す

2nd Zone >>> 日々の生活のことを話す

3rd Zone >>> したいことやしていることを話す

4th Zone >>> 説明する・自分の考えを話す

Zone	LESSON	文法項目	トピック	タイトル	配当時間
Introduction		5文型	Three Things about Yourself		2
1	1	現在形	自分や身近な人のこと	Meeting New People	2
	2	過去形	休日にしたこと	Last Weekend	2
	3	未来の表現	これからすること・予定	Weekend Plans	2
	4	完了形	旅行・移動などの経験	A Short Trip	2
	スピーチをしてみよう!		My Favorite Season		1
2	5	助動詞 ①	学校生活	School Rules	2
	6	助動詞 ②	出来事についての推測	Are You All Right?	3
	パラグラフを書いてみよう! ① 叙述文		Before I Entered High School ...		1
	7	受動態	日本のものを紹介する	Things Japanese	2

本課に加えて、数レッスンおきにまとまった分量の発信活動を行うスピーチ、パラグラフライティング、ディスカッション、プレゼンテーションのコーナーがあります。パラグラフライティングでは、叙述文、意見文、問題解決文の3種類の構造を学習し、書く練習を行います。

Zone	LESSON	文法項目	トピック	タイトル	配当時間
3	8	不定詞 ①	これからしたいこと	Talking about Dreams	2
	9	不定詞 ②	健康・食事・運動	To Keep Fit	2
	10	不定詞 ③	新しいテクノロジー	Our Future Devices	3
	11	動名詞	好きなこと・きらいなこと	Talking about Likes and Dislikes	2
	パラグラフを書いてみよう! ② 意見文		Club Activities		1
	12	分詞 ①	興味深いもの	Reporting Something Interesting	2
	13	分詞 ②	トラブルの相談	Being in Trouble	3
	ディスカッションを してみよう!		E-Waste		1
4	14	関係代名詞	有名人, 偉大な功績	Great Achievements	2
	15	関係副詞	世界の問題とSDGs	What's "SDGs"?	3
	16	比較 ①	気候・生活環境	Climate Change	2
	17	比較 ②	身近な社会問題	Food Waste	3
	プレゼンテーションを してみよう!		How to Save Electricity		1
	18	仮定法	他者の視点に立って話す	Water Problem	3
	パラグラフを書いてみよう! ③ 問題解決文		Road Safety		1
計					50

学習者の習熟度、授業方針に合わせて、文法学習と活動をバランスよく組み合わせる授業展開、文法や語いのインプット・練習・定着に重きを置く展開や、活動をメインとして進める展開など、さまざまな授業展開が可能です。

※ 以下の表は授業2コマ/1レッスンのペースを想定した場合です。

※ このほかに1コマ目で文法インプット、2コマ目で活動などの展開も可能です。

	文法&活動 バランス型	文法主軸型	活動主軸型
導入 (1ページ目) モデル会話	モデル会話を聞く ↓ ロールプレイ ↓ 発音解説 ▶ Sounds	モデル会話を聞く ↓ ロールプレイ	モデル会話を聞く ↓ ロールプレイ ↓ 発音解説 ▶ Sounds
定着 (2-3ページ目) 文法解説 例文, F-Guide 言語活動 Task	基本例文確認 ↓ 文法解説 ↓ 言語活動 ▶ 教科書 Task ↓ 【宿題】 ▶ Grammar Book ▶ Workbook 授業では、教科書のみでコンパクトに文法解説・演習を行い、宿題の準拠教材で補強する	基本例文確認 ↓ 文法解説 ▶ 文法参考書 ▶ Grammar Book ▶ 補助プリント ↓ 文法演習 ▶ Grammar Book ▶ 補助プリント ↓ 余裕があれば活動 ▶ 教科書 Task ↓ 【宿題】 ▶ Grammar Book ▶ Workbook	基本例文確認 ↓ 文法解説 ↓ 言語活動 ▶ 教科書 Task ↓ 【宿題】 ▶ Grammar Book ▶ Workbook 文法解説・演習は準拠教材に任せ、言語活動に時間を割く
発展 (4ページ目) 話す活動 Share 書く活動 Write	話す活動を行う ▶ 教科書 Share ①モデル英文の確認 ②自己発信の文作成 ↓ 書く活動を行う ▶ 教科書 Write Share と Write を両方行う時間の余裕がない場合は、Writeを優先し、Shareは定期テスト時にパフォーマンステストとして活用する	話す活動を行う ▶ 教科書 Share ①モデル英文の確認 ②ロールプレイ ↓ 書く活動を行う ▶ 教科書 Write Share は自己発信までせず、モデル英文のロールプレイまでとする	話す活動を行う ▶ 教科書 Share ①モデル英文の確認 ②自己発信の文作成 ③ペア/グループで共有 ↓ 書く活動を行う ▶ 教科書 Write ①空所補充 ②パラグラフライティング

レッスンで扱うトピック・場面・文法項目・重要表現を漫画で紹介

Start-Up Alexは国際交流部が活動している教室に向かおうとしています。

Meeting New People
自分のことを話す・相手のことをたずねる

Start-Up Alexは国際交流部が活動している教室に向かおうとしています。

Forms 現在の状態やいつもすることは動詞の現在形を使って表す

Expressions 相手の話の内容に合わせて、“Sure.”などのあいづちを打つことで会話を続ける
会話中に出てくる「あいづち」表現を探してみよう！

Sounds /l/と/r/の発音
● /l/…舌の先を上前歯の歯ぐきに押しつけて「ル」と発音する。
Alex, glad, let's, class
● /r/…口を丸く「ウ」の形にして舌の先をどこにもつげずに「ル」と発音する。
right, room, everyone, really

Talk
● AlexとHarukaになりきって会話をしてみよう！

Alex Lee先生に勧められて国際交流部に入った。楽しい部活だといいなあ。

QRコード
コンテンツ

- ▶ Start-Up 音声
- ▶ Sounds 音声 (以下次頁)
- ▶ 基本例文 音声
- ▶ 基本例文フラッシュカード
- ▶ 重要表現 音声
- ▶ Vocabulary 音声
- ▶ Vocabulary フラッシュカード

モデル会話と
漫画

吹き出しには読む順番を番号で付記。会話の展開と場面をわかりやすく示しています。

学習者にとってイメージしやすい発話内容となるように、登場人物は高校生、部活動の顧問の先生などに設定しました。

発音解説

/l/と/r/、発音するghと発音しないghなど、英語を発話するうえで学習者がつまづきやすい点を精選して取り上げています。

コミュニケーションするときのヒント

会話のときに役立つヒントや会話特有の表現についてコンパクトに解説しています。

LESSON 1 Interactions (定着)

基本例文

- ▶ 各レッスン 3 項目 6 例文
- ▶ 日本語訳掲載

文法解説

文法用語の使用は最小限にしてわかりやすく解説しています。

コンパクトな言語活動

- ▶ 1 項目につき 1~2 つ
- ▶ 話す(やりとり)/書く活動

モデル英文と参考語いを明示して, モデル英文の特定の部分を参考語いの任意の語句に置き換えることができます。1 つの Task につき 5 分程度でできる量です。

重要語い

- ▶ 1 レッスン 12~16 種類
- Task で使用されている語いから覚えるべき重要語いをピックアップしています。

Interactions 自分や身近な人のことを伝える

A 「(今)〜だ」と伝える

- I **like** cats very much.
- My brother **has** two bikes.

F-Guide

- 好きなものやほしいもの, 知っていることや思っていることなど, 現在の心理や感覚を表すときは動詞の現在形を使う。
- 持っているものや住んでいる所のような現在の状態を表すときも, 動詞の現在形を使う。

現在形(状態動詞)

私は猫が大好きだ。
兄は自転車を 2 台持っている。



Task 1 与えられた語句を参考に, 自分のことについて 1 つ, ほかの人のことについて 1 つ, 英文を書いてみよう。

(例) I **have** a little **brother**. He **is** five years old.
I **don't like** **summer**. It's too hot.

動詞 be / like / want / have / live in / belong to

人・もの・こと brother / sister / summer / winter / movies / baseball / a smartphone / the tennis club

状態を表す動詞:
like / love / have / want / hope / know / think / live / resemble / believe / understand など

B 「(いつも)〜する」と伝える

- My mother **drives** to work *every day*.
- My cat **usually sleeps** on the sofa.

F-Guide

- 習慣になっているようなことやくり返すことを表すときは, 動詞の現在形を使う。
- どのくらいの頻度なのかを表すときは, always 「いつも」, usually 「ふだん(は)」などの副詞を, be 動詞の後ろまたは一般動詞の前に入れる。

● 頻度を表す副詞

always > usually > often > sometimes > never
「いつも」 「ふだん(は)」 「よく」 「ときどき」 「決して〜ない」

現在形(動作動詞)

母は毎日, 車で仕事に行く。
私の猫はふだんソファで寝る。

Vocabulary

hope	願う, 望む	too	〜すぎる	tennis club	テニス部
resemble	〜に似ている	live in ...	…に住んでいる	video game	テレビゲーム
understand	〜を理解する	belong to ...	…に所属している	drink	〜を飲む
数+year(s) old	〜歳	smartphone	スマートフォン	get up	起床する

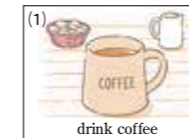
文法項目

文法参考書などで調べられるように, 扱っている文法項目を明記しています。

You and the People around You

Task 2 ペアになって, イラストを参考に, 自分がいつもすることなら "I ...", しないことなら "I don't ..." と書き出してパートナーに伝えよう。パートナーは E-Guide を参考に, あいづちを打って反応しよう。

(例) A: I **play video games** every day.
B: Really? Me, too.



E-Guide あいづち

- Sure. 「もちろん, そうだよ」
- Really? 「そのなの?, 本当に?」
- I see. 「なるほど」
- Me, too. 「私も」
- That's nice [good/great]. 「それはいいね」
- That's too bad. 「それは残念だね, 気の毒に」

C 「(今)〜している最中だ」と伝える

現在進行形 (am/are/is -ing)

- I'm **waiting** for the school bus.
- This drama **is becoming** my favorite.

私はスクールバスを待っている。
このドラマは私のお気に入りになりつつある。

F-Guide

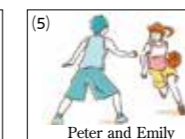
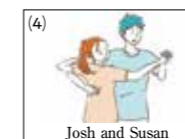
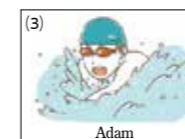
- 「(今)〜している最中だ」という, 行われている最中の動作を表すときは, 現在進行形 (am/are/is + 動詞の ing 形) を使う。A のように状態を表す場合は進行形にしない。
- 「〜しつつある」という, 変化している最中のことを表すときも, 現在進行形を使う。



Task 3

ペアになって, イラストの人物が何をしているのか話してみよう。

(例) A: What is **Tim** doing?
B: He **is drinking** water.



SELF-CHECK 到達度を自己評価してみよう

- water 水
- draw a picture 絵を描く
- swim in the pool プールで泳ぐ
- basketball バスケットボール
- A 自分や身近な人・ものの現在の状態を伝えることができる。(現在形 | 状態動詞)
- B 自分や身近な人がいつもすることを伝えることができる。(現在形 | 動作動詞)
- C 今している最中のことを伝えることができる。(現在進行形)
- Expressions 相手の話の内容に合わせて適切なあいづちを打つことができる。

重要表現

「あいづち」「励ましの言葉」など, 覚えるとそのまま会話のなかで使える重要表現を種類ごとにまとめました。

豊富なイラスト

文法解説・Task とともに, 豊富なイラストで, 英語を使用する場面をイメージしやすいよう工夫しています。

SELF-CHECK

レッスンごとに, 学習した文法項目と重要表現が身についたかどうかを自分で評価します。

授業用の補助プリントも各種ご用意 ▶ pp.26-27

- 高校英語のための Warm-Up シート: 中学の復習をして導入をサポート
- Grammar 導入シート: Task に入る前の簡単なパターンプラクティス
- 例文暗唱 & Vocabulary シート: 例文と重要語いの暗記をサポート

教科書で学習する文法項目

- 英語の語順(Introduction)~仮定法まで
- 過去完了形・未来完了形・関係詞の非制限用法・仮定法過去完了は未掲載 (準拠教材 Grammar Book で発展項目として学習することができます)

LESSON 1 Active Learning(発展)

学習した文法の型・重要表現を使って、まとまった量の発信活動に挑戦

書く活動(Write)

▶ 30~50語程度

平易な語いで正確かつ論理的に書くことを目指します。論理的に書くためのヒントも記載しています。

話す活動(Share)

▶ 3往復程度の会話 (14レッスン)

▶ 50~80語の短いスピーチ (4レッスン)

論理展開を1から順に示して、モデル英文のとおりにはしゃべれば、ミニマルな会話/スピーチができるように工夫しました。

Active Learning 自己紹介

Write 自己紹介の文を書く

次の文章を参考に、5文以上で自己紹介を書いてみよう。

Hello, everyone. My name is Yamada Sakura. I went to Nakahata Junior High School. I like K-pop songs. My favorite singer is JJ. I want to visit Korea some day. Nice to meet you.

Hints for Logical Writing

自己紹介では名前やニックネーム、出身校などの自分についての〈基本的な情報〉、次に興味のあることや将来の計画など自分をよく知ってもらうための〈より個人的な情報〉という順で書くと、伝わりやすくなります。

Share 自己紹介をする

グループになって、次の手順を参考に、1人ずつ自己紹介をしよう。

1 あいさつ

1 Hi, everyone.

2 自分の基本的な情報

2 名前や(あれば)ニックネーム
My name is Sato Hinata. Please call me Hina.
出身校、住んでいる場所など
I went to Sakura Junior High School.
I live in Nanairo City.

3 より個人的な情報

3 好きなもの・ことなど
I like tennis very much.

4 あいさつ

4 Nice to meet you.

Plus

- 2** 住んでいる場所についてひと言プラス。(I live in Kagawa. It's famous for udon.)
- 3** 好きなもの・ことについてひと言プラス。(I want to join the school tennis club.)
+ 家族やペット、趣味についてひと言。(I have a white cat, and her name is Momo.)

SELF-CHECK 到達度を自己評価してみよう

- 自分のことを説明する英文を書くことができた。 3 2 1
- 示された展開に沿って自己紹介をすることができた。 3 2 1
- グループのメンバーとアイコンタクトをとりながら話すことができた。 3 2 1

16

授業用の補助プリントも各種ご用意 ▶ p.26

- Write活動シート・Share活動シート:
モデル英文の構造解説からアイデア出し、メモ作り、英文づくりまで総合的にサポート

LESSON 14 Start-Up(導入)

レッスンで扱うトピック・場面・文法項目・重要表現を漫画で紹介

LESSON 14

Great Achievements

有名人や、その人の功績について説明する

Start-Up コンピューター室で調べ学習中、Kanata が気になる記事を見つけました。

Look. This is Elif Bilgin. She won a science award in 2013.

That's right. Bioplastic is a new type of plastic that breaks down underground.

Oh, I remember her! She was the high school student who made bioplastic* from banana peels.

It's very eco-friendly, isn't it? People who invent things are so amazing.

*bioplastic...バイオプラスチック(生物資源由来のプラスチック)

Tips: 人やものを表す名詞に説明を加えるとき、英語では「生徒」「プラスチック」のようにまず名詞を言ってから、who/that のような関係代名詞で始まるまとまりを続けて、どういう生徒なのか、どういうプラスチックなのかをわかるようにします。日本語とは語順が逆になりますね。

Forms 名詞を文で説明するときに関係代名詞を使う

Expressions 「~だよな?/~じゃない?」と相手に同意を求めたり、確認したりする

● 会話に出てくる「~だよな?/~じゃない?」の表現を探してみよう!

Sounds /p/と/b/の発音

- /p/...唇をしっかり閉じて、「プ」と勢いよく息を出して発音する。
peel, plastic, people
- /b/...唇をしっかり閉じて、「ブ」と勢いよく声を出して発音する。
remember, bioplastic, banana, break

Talk

- Kanata と Alex になりきって会話をしてみよう!

Alex 世界にはすごい高校生がたくさんいるけど、僕にも始められるエコ活動には何が

トピック

関係代名詞を学習するレッスンでは、トピックとして「有名人や、その人の功績」を取り上げて、「○○は~をした人です」「◇◇は...が~するものです」のような文をつくる自然な場面を設定しています。

デジタル教科書での表示・音声再生 (指導資料セット 指導用データ DVD-ROM 収録)

- モデル会話の漫画を画面いっぱい拡大表示
- 音声再生はシークバーで任意の位置で一時停止/再生開始可能
- 音声の再生スピードを変更可能

特色 1
特色 2
特色 3

LESSON 14 Interactions (定着)

シンプルな例文

関係詞, 仮定法のように複数の節から成る文も, 短くシンプルで覚えやすい文にしています。

日本語の文法見出し

- ▶ 1レッスンにつき 3項目
 - ▶ 意味/型を明確に記載
- 文法用語の知識がなくても, 学習する項目がわかるように日本語で意味/型を記載しました。

補足的な英文

基本例文の別バージョン (ここでは目的格の関係代名詞を省略した文) は, 文法解説のなかで紹介しています。

Interactions 人物について説明する

A 「～する+名詞」と伝える

関係代名詞 (主格)

- ① I met a woman **who** wrote my favorite novel. 私は, 私のお気に入りの小説を書いた女性に会った。
- ② He invented a robot **that** helps sick people. 彼は, 病気の人々を助けるロボットを発明した。

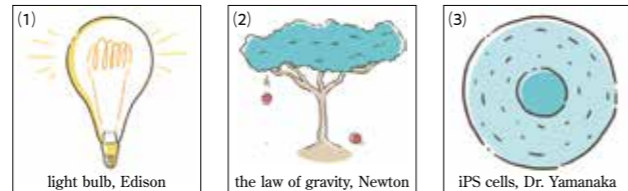
F-Guide

- ① 「～する人」のように, どのような人なのかわかるように説明を加えたいときは, 〈名詞+who+動詞...〉とする。
a woman ← who + wrote my favorite novel *who は説明部分で主語のはたらきをしている。
- ② 「～するもの」のように, どのようなものなのかわかるように説明を加えたいときは, 〈名詞+that+動詞...〉とする。この場合, 関係代名詞は that または which を使う。② =He invented a robot which helps sick people.)
a robot ← that + helps sick people *that は説明部分で主語のはたらきをしている。

Task 1 与えられた語句を参考に, 何かを発明または発見した人を紹介する英文を書いてみよう。



(例) The person who invented **the printing press** was Gutenberg.



B 「…が～する+名詞」と伝える

関係代名詞 (目的格)

- ③ He is the person **whom** I respect most. 彼は, 私が最も尊敬する人です。
- ④ Here is the article **that** you are looking for. ほら, あなたが探している記事です。

F-Guide

- ③ 「…が～する人」のように, 説明する部分が〈主語+動詞〉を含む場合は, 〈名詞+whom+主語+動詞...〉とする。
the person ← whom + I respect most *whom は説明部分で respect の目的語のはたらきをしている。目的語のはたらきなので whom を使うのが正しいが, 口語では who を使うことが多い。
- ④ 「…が～するもの」のように, 説明する部分が〈主語+動詞〉を含む場合は, 〈名詞+that+主語+動詞...〉とする。この場合, 関係代名詞は that または which を使う。④ =Here is the article which you are looking for.)
the article ← that + you are looking for *that は説明部分で are looking for の目的語のはたらきをしている。

目的語のはたらきをする関係代名詞は省略できるので, ③と④はそれぞれ次のように表すことができる。
He is the person I respect most.
Here is the article you are looking for.

Vocabulary

invent	発明する	gravity	重力	poet	詩人
light bulb	電球	cell	細胞	museum	博物館, 美術館
discover	発見する	painting	絵画	move	感動させる

- 基本例文を日本語→英語で書いて練習
- Task 解答欄 & ヒント
- Vocabulary を日本語→英語で書いて練習

活動アイコン

話す(やりとり), 話す(発表), 書く活動が一目でわかるようにしています。

Great People and their Achievements

Task 2 ペアになって, 与えられた語句を参考に, 有名なものとその作者について話してみよう。



- (例) A: Have you heard of **Osaka Castle**?
B: Yes. It's a **castle** that **Toyotomi Hideyoshi** built, isn't it?
A: That's right!
(1) *The Bluest Eye* / novel / Toni Morrison
(2) *Mona Lisa* / painting / Leonardo da Vinci
(3) *Yesterday* / song / Paul McCartney

E-Guide 同意を求める表現(付加疑問)

同意を求めたい発言の最後に〈be動詞+主語?〉または〈助動詞/do, does, didなど+主語?〉を付ける。肯定文のあとには否定の付加疑問, 否定文のあとには肯定の付加疑問を続ける。

- She is a wonderful poet, **isn't she?**
- The museum opens at 10, **doesn't it?**
- He will come, **won't he?**
- He won't come, **will he?**

C 「～するもの/こと」と伝える

関係代名詞 (what)

- ⑤ **What** impressed me was his talent for invention. 私を感動させたのは彼の発明の才能だった。
- ⑥ I can't believe **what** she discovered. 私は彼女が発見したものが信じられない。

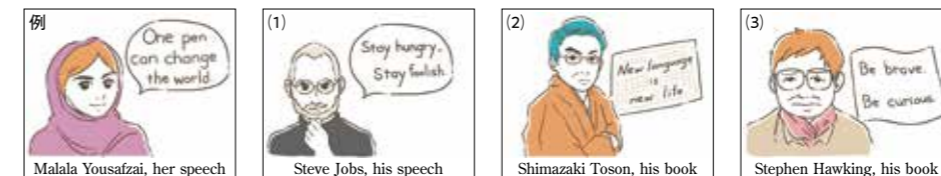
F-Guide

- ⑤ 「～するもの/こと」という意味を表したいときは, 〈what+動詞...〉を使う。what で始まるまともは文の中で名詞としてはたらき, 主語などになる。
- ⑥ 「…が～するもの/こと」という意味を表したいときは, 〈what+主語+動詞...〉を使う。
● what I am 「今の私」, what I used to be 「昔の私」, what is called ... 「いわゆる…」

Task 3 イラストを見て, 「これは…が～したことです」「…が～したことに私は感動しました」と名言を紹介しよう。



(例) This is what **Malala Yousafzai** said in **her speech**.
I was moved by what she said in **her speech**.



SELF-CHECK

到達度を自己評価してみよう

- A 「～する人/もの/こと」と伝えることができる。(関係代名詞 | 主格)
- B 「…が～する人/もの/こと」と伝えることができる。(関係代名詞 | 目的格)
- C 「～するもの/こと」と伝えることができる。(関係代名詞 | what)
- Expressions 「～だよな?」と自分の発言に同意を求めることができる。
- foolish おろかな
- brave 勇敢な
- curious 好奇心の強い

話す(やりとり)モデル英文

- ▶ 1.5往復の会話
 - ▶ 質問→回答→回答への反応
- 質問→回答→回答への反応, の展開で, 学習する文法は2番目の回答の文に含まれるようにしています。

ゆとりのある広い紙面

教科書は横幅がA4サイズ, 縦幅がB5サイズのAB判なので, 紙面にゆとりがあり, マーカーで線を引いたりチェック欄に書きこんだりしやすくなっています。

- 各レッスンの例文, 文法解説, 練習問題を掲載
- 空所補充問題, 整序問題, 部分英訳問題など豊富な問題形式
- Zoneごとに文法項目をまとめた横断的な Review 問題で知識を確認

特色 1
特色 2
特色 3

LESSON 14 Active Learning(発展)

学習した文法の型・重要表現を使って、まとまった量の発信活動に挑戦

WriteとShareの連動

WriteとShareのテーマは共通または連動しており、Writeで英文をつくるのがShareの準備になったり、Shareで話した内容がWriteの本論になったりするよう工夫しています。

補足的な表現

話す活動をするときに、さらに話題を掘り下げて論じることができるように補足的な表現を掲載しているレッスンもあります。

Active Learning 人物紹介

Write あこがれの人を紹介する文を書く

次の文章を参考に、自分があこがれたり尊敬したりしている人の紹介を書いてみよう。

The person I respect most is Steve Jobs. When he was young, he was interested in many things. Even after he founded* a computer company, he was always open to new ideas and created new products* which changed our lives.

*found…(会社などを設立する, product…製品)

Hints for Logical Writing

尊敬する人について書くとき、「I respect+人名」と表すこともできますが、「私」を主語=主役として書くのではなく、尊敬する人に焦点をあてたいときは「The person (who) I respect is+人名」と書くと、話の主役ははっきりします。

Share あこがれの人を紹介する

グループになって、1人ずつ自分があこがれている人を紹介しよう。

- 自分があこがれている人の名前を言う。
1 The person who I respect most is Miley Cyrus.
- その人の職業などを説明する。
2 She is a singer and actress who has had many hits.
- 特に印象的なエピソードを1つ紹介する。
3 She sang in We Are the World 25 for Haiti, after a big earthquake and tsunami hit Haiti in 2010.
- その人に対する自分の気持ちを説明する。
4 Her voice always makes me feel happy!

Plus 紹介を聞いた人は、その人物についてたずねてみよう。
・ Which song[book / movie] do you like the best? 「どの作品がいちばん好きですか？」
・ Have you ever seen him[her] in person? 「その人を生で見たことがありますか？」
・ Do you want to be like him[her]? 「その人になりたいですか？」

SELF-CHECK 到達度を自己評価してみよう

- 自分があこがれたり尊敬したりしている人を紹介する英文を書くことができた。
- 示された展開にそってあこがれの人を紹介することができた。
- グループのメンバーとアイコンタクトをとりながら話すことができた。

Active Learning 資料 世界の偉人たち

世界の偉人たち

英語では、人物を紹介するときに「津田梅子は日本で最初の女子大学を創立した教師だった」のように「(名前)は(業績)をした(職業)だ/だった」という言い方をするのが一般的です。下記の例を参考に、さまざまな人物を紹介してみましょう。



Emmy Noether
数学者
(mathematician)

「ネーターの定理」を発見・証明し、のちの数学および物理学に多大な影響を与えた。



Amelia Earhart
飛行士
(pilot)

女性の飛行士として初めて大西洋(the Atlantic Ocean)の横断飛行に成功した。



Isaac Asimov
作家、生化学者
(writer, professor of biochemistry)

一般向けの科学書や、I, Robot「われはロボット」などのSF小説を書いた。



Ogata Sadako
外交官、国連難民高等弁務官
(diplomat, UNHCR)

国連難民高等弁務官などを歴任し、難民支援、世界平和、国際社会の発展に貢献した。



Wangari Maathai
環境保護活動家
(environmental activist)

アフリカで植林活動を行い、持続可能な開発に取り組んだ。2004年ノーベル平和賞受賞。



Ban Shigeru
建築家
(architect)

紙を効果的に使用した建築物で有名。仮設住宅デザインなど災害支援も精力的に行っている。



Steve Jobs
工業デザイナー
(industrial designer)

Apple社を創業し、MacintoshやiPhoneなどの機能的で美しい製品を多数生み出した。



Pierre Hermé
パティシエ
(patisserie)

「The Picasso of Pastry」「ペイストリー界のピカソ」とも呼ばれ、先進的な菓子を作っている。

言語活動用の資料

LESSON 14-18 では、調べ学習のヒントとなる人物、場所、事例などを取り上げて紹介しています。

資料の例

各レッスン8例
ここでは、ShareとWriteのテーマが「あこがれの人」なので、新旧の著名人を8人紹介しています。この中から1人選んでさらにくわしく調べることで、スムーズに活動を行うことができます。

Writeの評価用ルーブリック(指導資料セット 指導用データDVD-ROM収録)

学習者が自分で評価できるように各レッスン用意しています。

- 知識・技能:〈文法〉〈表現〉を評価
- 思考力・表現力・判断力:〈論理構成〉〈量・速度〉〈内容〉を評価

特色1
特色2
特色3

言語活動についての説明

ディスカッションとはどのようなもので、どのような目的のために行うのかなどを簡潔に説明しています。

モデル英文

モデル英文は50語程度で、発話の際に30秒～1分程度で話せる分量です。

モデル英文の構造解説

モデル英文の構造をOpinion → Reason / Example → Opinion などのような要素に分解して、何をどのような展開で書けばよいか解説します。

Discussion ディスカッションをしてみよう!

ディスカッションとは?

あるトピックについて何人かで意見を出し合ったり、情報を交換し合ったりするのがディスカッションです。ディスカッションは、ディベートとは異なり、意見は肯定と否定の2種類とは限りません。アイデアを出し合い、合意できる部分には賛成し、そうでない部分は反論して、よりよい提案をしていくプロセスを通じて、参加者全員で、トピックに対する解決の糸口を見つけていきましょう。

Example テーマ：電気電子機器廃棄物について

Question:

Have you ever heard of "e-waste"? E-waste means electronic and electrical waste such as smartphones and computers. E-waste can be toxic* and dangerous, so it is becoming a big problem around the world. Now, let's discuss how we can manage or reduce e-waste.



*toxic 「有毒な」

Opinion:

In my opinion, it is important not to buy too many electrical products. For example, my sister often buys a mobile battery when she forgets to carry one. This is not good because these extra batteries will become e-waste in the end. In order to reduce e-waste, we should buy only necessary electrical products. (54 words)

意見文の構造 〈意見〉→〈理由/例〉→〈意見〉の展開を意識しよう!

導入	Opinion	① Point 1 最初に、自分の意見、提案をはっきり述べる 「電気電子機器廃棄物を扱い、減らす方法」というトピックに対して、最初に自分のアイデアをはっきり述べます。ディスカッションでは部分的に対立する意見が出ることもあるため、事実と意見を区別して "In my opinion, ..." などの表現を使いましょう。
本論	Reason Example	② Point 2 意見の裏付けとなる理由、わかりやすい具体例を述べる ③ 意見を述べたら、次に自分の意見を裏付ける理由や具体例を挙げます。主観に基づく意見と異なり、ここでは、客観的な事実を理由や例として提示することで、自分の意見がより説得力のあるものになります。情報を整理して手短かに伝えましょう。
結論	Opinion (再度)	④ Point 3 本論をうけて、もう一度、自分の考えを述べる ⑤ 意見文の最後には、もう一度、自分の意見、提案を述べるのが重要です。英語では同じ表現をくり返し使うことは避けられるので、導入の文を言い換えましょう。

話す活動

Harmony I ではスピーチとディスカッションを取り上げています。

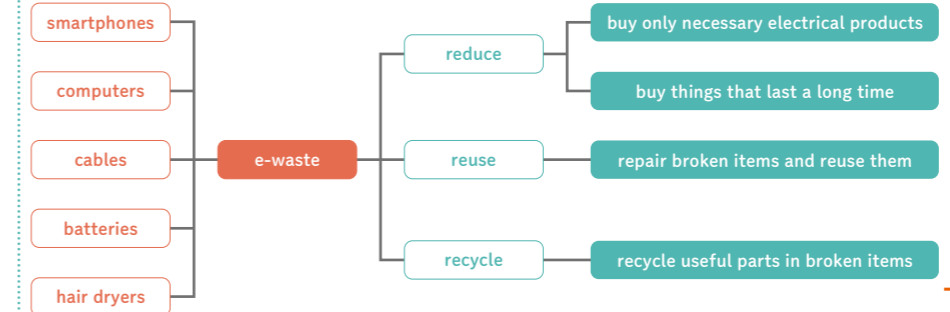
ディスカッションの実践 10分程度のディスカッションをしてみよう!

- テーマ：電気電子機器廃棄物を扱い、減らすためにできること
- 意見の長さ：各自3文以上（40～60語前後）、1分以内で話せる長さ
- 準備時間の目安：約15分

Task 1 導入、本論、結論となる部分のメモを作ろう。

[Step 1] キーワードとなる表現を調べながら、e-wasteの具体例と、reduce, reuse, recycleの観点からできることを思いっただけ書き出していく。

[Step 2] 英文をつくることを想像しながら、Step 1のアイデアから話を広げやすい例を選ぶ。
・導入→本論→結論の順に、言いたいことをメモにする。



導入 ①電気電子機器をたくさん買すぎない

本論 ②③姉は持ち歩くのを忘れるたびにモバイルバッテリーを買うが、これはよくない

結論 ④電気電子機器廃棄物を減らすために、必要な機器だけを買うべきだ

Task 2 グループになって、実際にディスカッションをしてみよう。

[Step 1] Moderator(進行役)を決める。

・ModeratorはQuestionの例のとおり問題提起をし、メンバーの意見を聞く。

[Step 2] メンバーは各自順番に、自分の意見を伝える。

・Moderatorはメンバーの意見に、"That's an interesting idea." のようにあいづちを打ち、"How about ...?" と別のメンバーに話を振る。

[Step 3] 全員が意見を述べ終わったら、Moderatorは "Thank you for your great ideas!" のようにポジティブな感想を述べ、ディスカッションを終える。

TRY!

同様の手順で、下記のテーマでもディスカッションをしてみよう。

Plastic Waste / Food Waste

SELF-CHECK

- 3文以上、40語以上の意見文を書くことができた。
- 意見を裏付ける理由や具体例を挙げるができた。
- グループで複数のアイデアを交換することができた。

アイデアマッピング

英文を書き始める前に、アイデアを思いっただけ書き出して整理する方法を丁寧に解説します。

「～してみよう!」活動シート(指導書セット DVD-ROM 収録)

- モデル英文の構造解説
- 参考語い、アイデアマッピング用の記入欄、解答欄等

類題

類似した別の話題でディスカッションする際の類題を2題掲載。

モデル英文

モデル英文は60~100語程度で、各レッスンのWriteよりも少し長い英文を書く練習をします。

モデル英文の構造解説

モデル英文の構造を示し、〈問題の原因〉〈解決策〉などのキーとなる部分はモデル英文を赤字に示して、わかりやすく示しています。

Paragraph パラグラフを書いてみよう! ③問題解決文

問題解決文とは: あるものや事柄について、問題点を指摘し、その解決策を提示する文章

Example テーマ: Road Safety

Every year, about 300,000 traffic accidents happen in Japan. Among these, 60,000 to 70,000 include bicycles. How can we reduce bicycle accidents and promote road safety? Research shows that about half of bicycle accidents are caused by violations of the Road Traffic Law*. For example, cycling without lights at night, not stopping at crossroads, and ignoring traffic lights* are all against the law. However, many people do these things because they do not know the law well. If the government encourages local police stations to offer free classes on road safety, accidents will decrease. Let's learn about the Road Traffic Law and promote road safety! (105 words)

*violations of the Road Traffic Law 「道路交通法違反」, ignoring traffic lights 「信号無視」, encourage 「～するようはたらきかける」

パラグラフの構造 〈問題点の指摘〉→〈解決策の提示〉の展開を意識しよう!

導入	<p>① Every year, about 300,000 traffic accidents happen in Japan.</p> <p>② Among these, 60,000 to 70,000 include bicycles.</p> <p>③ How can we reduce bicycle accidents and promote road safety?</p> <p>Point 1 どのような問題について話すのかを述べる</p> <p>問題解決文では、最初にどのような問題について話すのかを明確にすることが大切です。例文では、〈交通事故件数〉→〈自転車関連交通事故件数〉→〈目指すべきことの提示〉の順に述べられており、説明文(→ p.84)の書き方で学習した、〈抽象〉→〈具体〉の展開がここでも生かされています。導入の最後では、テーマの「交通安全」が提示されています。</p>
問題解決 ・問題の原因 ・その解決策	<p>④ Research shows that about half of bicycle accidents are caused by violations of the Road Traffic Law.</p> <p>⑤ For example, cycling without lights at night, not stopping at crossroads, and ignoring traffic lights are all against the law.</p> <p>⑥ However, many people do these things because they do not know the law well.</p> <p>⑦ If the government encourages local police stations to offer free classes on road safety, accidents will decrease.</p> <p>Point 2 問題とその解決策を提示する</p> <p>例文では、④で自転車関連事故のおもな原因、⑤でその具体例、⑥でそのようなことが起きる原因、⑦でその原因を解決する1つの方法を示しています。④→⑤→⑥のように、問題の原因を掘り下げていくときは〈抽象〉→〈具体〉→〈(さらに)具体〉と問題の核に近づいていくつもりで、情報を順に並べていくとよいでしょう。</p>
まとめ	<p>⑧ Let's learn about the Road Traffic Law and promote road safety!</p> <p>Point 3 問題の解決に向けた前向きなコメント</p> <p>最後は、再度〈抽象〉の視点から、問題の解決に向けた前向きな姿勢を示しましょう。</p>

書く活動

Harmony I では叙述文、意見文、問題解決文を取り上げています。

パラグラフ・ライティングの実践 交通安全について書いてみよう!

Task 1 日本または自分が住んでいる地域の交通事故件数などについてのデータを集めて、どのような観点から交通安全について論じるか考え、キーワードとなる表現を調べながら、思いつくだけアイデアを書き出してみよう。

調べ学習のヒント: 交通事故は…

いつ起きる?	<ul style="list-style-type: none"> ・月ごとの発生件数 ・曜日ごとの発生件数 ・時間帯ごとの発生件数 ・天候ごとの発生件数
どこで起きる?	<ul style="list-style-type: none"> ・交差点/踏切など ・学校などの周辺
巻き込まれたのは?	自動車/自転車/歩行者/建物など

【Step 1】

交通事故が発生した状況について、左の表を参考に、スマートフォンやタブレットで調べ学習を行い、調べたことをふせんや白紙に書き出していく。ペアやグループで分担して調べてもよい。

traffic accidents: 300,000/year

bicycle accidents: 60,000-70,000/year

●交通事故の原因

道路交通法違反	<ul style="list-style-type: none"> ・一時停止違反 ・スピード違反 ・ヘルメット着用義務違反 ・夜間の無灯火走行 ・飲酒
運転者の状態	<ul style="list-style-type: none"> ・眠気/疲労/体調不良 ・眼鏡/コンタクトレンズ不使用 ・イヤホンなどの使用
運転者の行動	<ul style="list-style-type: none"> ・確認不足 ・ながら運転(飲食など)

【Step 2】

Step 1で調べたことの中から特に興味を引かれたものを選び、左の表を参考に、事故の原因について調べ学習を行う。また、それらの原因を解決する方法をセットにして書き出していく。

causes

no lights at night

ignore traffic lights

not stop at intersections

Task 2 Task 1で書き出したメモの情報を、〈問題点の指摘〉→〈解決策の提示〉の展開になるよう整理しよう。説明部分の情報が整理できたら、導入・まとめとして言うことを前後に付け足そう。

導入: Introduce your topic.

まとめ: Give positive comments.

Task 3 Task 2でつくったアウトラインをもとに、パラグラフを書いてみよう。

E-Guide

原因 because ... / since ... 「…なので」、〈(原因) cause (結果)〉「…は～を引き起こす」

結果 〈(結果) is caused by (原因)〉「～は…によって引き起こされる」、as a result, 「結果的に」

+Plus+ 書いた文をクラスメイトと交換して、読み合おう。読んだら、余白に “It was very interesting!” や “That was impressive!” など、ひと言感想を書きこんで返却しよう。

TRY!

同様の手順で、下記のテーマでも書いてみよう。

Beach Safety / Mountain Safety

SELF-CHECK

- 〈問題〉→〈解決策〉の展開で書くことができた。
- 原因・結果を表す表現を1つ以上使えた。
- 条件を表すifを1回以上使えた。

調べ学習のヒント

ここでは、交通安全がテーマなので、事故の発生件数や発生場所、よくある事故原因など、調べ学習をする際に検索のヒントとなる情報をあげています。

英語での表現

アイデアをメモにまとめる際、テーマに関する重要語も調べることで、次の英文作成がスムーズに行えます。

重要表現

問題解決の文を書くときに必要となる表現(〈結果〉 is caused by 〈原因〉等)をリスト化して、書く作業をサポート。

「～してみよう!」活動シート(指導資料セット 指導用データ DVD-ROM 収録)

- モデル英文の構造解説
- 参考語い、アイデアマッピング用の記入欄、解答欄等